

# 教区の宣教を考える集いのご案内

## テーマ

### 「(仮)九州教区の宣教協力の取り組みに学ぶ」

関東教区宣教部では、例年7月の海の日に「関東教区の宣教を考える集い」を開催し、教会が今担うべき宣教の課題について学んでいました。

2023年度は、「互いに協力し、共通の課題に取り組み、交流を深める」ー北海教区から学ぶ「協同」の業ーをテーマに、北海教区の宣教の協同を学びました。83,424 km<sup>2</sup>もの広さの中で、また、冬の厳しい気候の中で、60の教会・伝道所が一つ一つの教会が孤立することなく、互いに宣教協力に励んでいる姿から多くの学びがありました。

少子高齢化が想像以上に進み、人口減の影響を受けて、全国の自治体の中では消滅する可能性がある自治体が744にのぼるとの指摘が民間の有識者グループ「人口戦略会議」より公表されました。2050年までに20代から30代の女性が半減し、「最終的には消滅する可能性がある」とした分析です。

大変ショッキングな分析であり、関東教区でも消滅可能性自治体が多く存在しています。これはあくまで可能性としての分析ですが、それぞれの地域にある教会にとってはその影響を避けて通ることはできないと言わざるをえません。

そして、そのような状況の中でも、各地にたつ教会をいかに守っていくのかの課題が今後ますます重要になることを覚えたいと思います。

九州教区は、10地区126教会からなる教区で、都市部の教会もあれば農村の教会があり、南には奄美地区に4の教会伝道所がある教区です。九州教区の宣教基本方針には、「互いに支え合いつつ、九州教区がおかれた地域の様々な課題に誠実に向き合います。」が掲げられています。そして、その具体的取り組みとして「九州教区の宣教を連帯して担うため、互助献金に全教会・伝道所、および全教師が参与するよう取り組みます。」と「福音宣教を共に担うために、兼務、代務の教会・伝道所を支えます。」としています。

2024年度の「宣教を考える集い」では、この九州教区の実際に学びたいと思います。

後日改めてご案内をいたしますが、どうかあらかじめ皆様のご予定にお加えくださいますよう、よろしくお願いいたします。  
(宣教部委員長 飯塚拓也)

日時：2024年7月15日(月・祝日)10時15分～15時30分

場所：日本基督教団大宮教会

内容：主題講演「(仮)九州教区の宣教協力の取り組み」

日下部遣志牧師(川内教会牧師・九州教区議長)

参加費：無料(昼食は各自ご持参ください)

※子どもたちにも参加してほしいと願っています。一緒に礼拝した後は、子どもプログラムを楽しみ、他の教会の子どもたちと友だちになりましょう。

【このチラシを教会ごとに印刷くださって、教会内で配布いただければ幸いです】